

INDEX

いま、農協はどうなっているのか？～協同組合としてのJAに学ぶ

巻頭言

アベノミクス農政と農業・農村のあり方～食と農はどうなるのか～……樫原 正澄 1

争論 農協はどうなる、どうする？……2

01 なぜ総合農協は改革されなければならないのか……本間 正義 3

02 政府の「農協改革」は何を意図しているのか……石田 正昭 14

特集 いま、農協はどうなっているのか？～協同組合としてのJAに学ぶ……25

01 地域と地域を結ぶ協同組合間協同～牛乳の流通と「生協牛乳」の誕生……下門 直人 26

02 地域一体となって組合員のレベルアップを図る協同組合

～JA 浜中町の「エコ牛乳」を訪ねて……杉本 貴志 34

03 地域の生活インフラとしての農協の役割

～A コープとファミリーマートの一体型店舗を事例として……加賀美 太記 40

04 農協職員を対象とする理念教育の現状と課題……藤井 晶啓 46

05 日本文化厚生農業協同組合連合会の組織と事業……小磯 明 53

06 農協の准組合員問題～その歴史と構図……増田 佳昭 60

書評

01 『総合農協のレーゾンデートル 北海道の経験から』

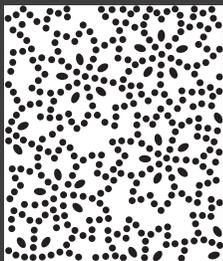
坂下明彦・小林国治・正木卓・高橋祥世 編……山野 薫 68

02 『魚と日本人 食と職の経済学』 濱田武士 著……林 薫平 70

投稿規程…… 72

バックナンバー／編集後記…… 73

小紋
挿
趣



表紙紋様「地落ち七宝文様」

咲き誇る満開の桜、風に吹かれて舞い散りゆく桜、「さくら」の語源には諸説ありますが、日本神話に登場する女神「木花咲耶姫（このはなさくやひめ）」の「さくや」が「さくら」に転じた説が有名です。桜が生活の中に浸透し始めたのは、豊臣秀吉が醍醐寺で催した盛大な花見からだと言われており、江戸時代に入ると「桜」の花見は落語の題材になる程、庶民にとって身近なものとなりました。春は様々な行事の出発点、「桜咲く」新しい門出の花をまずは心安く楽しみたいですね。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）